

## 第16回全国SR交流会の報告

出席者 会長 日笠みどり  
常務理事 平野幹雄

第16回全国SR交流会が、10月14日に名古屋市・名古屋東急ホテルで行われ、岡山から会長と常務理事が参加しました。

全国から169名が参加し、連合会会長の大野氏など多くの来賓が出席され、昭和63年の事務組合スタート以来、全国的な努力の中で大きな事業体となっている事に確信をもつことができました。



### 【コロナ対応の分科会】

3年目を迎えるコロナ下での困難は、いろいろな対応を求められました。総会の開催、研修会の実施、職員の業務対応など、全国の状況が交流されました。

総会開催の方法として、書面又は電磁的記録媒体での議決で対応できるように定款改訂を行った。定款改訂はしてないが、書面評決とした。出席の自粛と委任状の推奨などが報告された。

研修の方法として、オンラインでの研修、会場参加とZoom利用、期間を決めて動画配信などの対応が報告された。

### 【危機管理対応の分科会】

危機管理対応の分科会では、事前のアンケートの回答票に沿って、全国から7箇所のSRより報告がありました。北海道、岐阜、愛知中央、愛知三河、岡山、福岡、兵庫の順に危機管理の具体的な対応策の説明があり、社労士会員に疾病、行方不明等で業務の遂行が出来ない場合や事務局からの連絡が取れない場合についての対応についての報告がありました。各SRが独自の規定等を作成して対応しており、それぞれの規定の資料も今後の事業運営の参考となりそうです。岡山SRも定款だけでは対応が難しい会員の退会について別途「岡山SR経営労務センター社会保険労務士会員規程」を作成し、問題を起こした会員に対する退会手続きの明確化について、その作成の経緯や内容について説明をさせていただきました。分科会でも処分に値する会員が要る場合の退会を進めることの難しさについても様々な意見が交わされました。

### 【事務処理共通システム構築事業の廃止】

全国SRで、事務処理に伴う全国的なシステムを平成28年から検討していたようです。全国で規模のばらつきが大きい、電子申請の仕組みがすでに構築されている、開発資金が億単位になる、などの理由で検討を廃止することが提案され、承認されました。

### 【世話人会】

会の運営は、全国世話人会で行われています。世話人は、ブロック別に選出されており、中国・四国は現在・愛媛SRセンターが担当してくれています。今回の交流会で、「2年後は岡山で担当してほしい」との依頼がありました。

### 【次回の開催地】

全国SR交流会は、令和6年10月に北海道で開催される事が確認されました。

### 【懇親会】 各地からの参加者と交流を深めました。



以上